令和7年度

学校関係者評価報告書

令和8年6月

学校法人日南学園　日南看護専門学校

本校では、日南看護専門学校学則施行細則第23条 自己点検・自己評価 について、教育理念の基に教育目的がどのように達成されているかについて自己点検・自己評価を行いました。以下にその結果を報告いたします。令和5年度より、自己点検・自己評価表の項目と評価基準を変更しております。

1. 学校関係者評価委員

- 藤原 昭悟（学校法人日南学園理事長）
- 久保田 一史（学校法人日南学園理事 日南学園高等学校校長）
- 添田 昌邦（学校法人日南学園 理事）
- 倉元 保久（学校法人日南学園 理事）
- 福重 秀敏（学校法人日南学園 理事）
- 黒田 泰裕（学校法人日南学園 理事）
- 小川 淳子（学校法人日南学園 日南看護専門学校校長）

2. 評価対象期間

自:令和７年4月1日
至:令和8年3月31日

3. 評価結果

(表1)自己点検・自己評価結果 評価点数(4～1)

領 域	主な内容	項目数	R5年	R6	R7
Ⅰ学校経営	学校の組織目標、組織運営	3	3.5	3.4	3.4
Ⅱ教育課程・活動	教育目標、カリキュラム運営	5	3.3	3.5	3.5
Ⅲ学習成果	単位修得に向けた支援、国家試験対策	3	3.3	3.3	3.5
Ⅳ入学・卒業・就職・進路支援	募集活動、卒業生への支援	3	3.2	2.9	3.5
Ⅴ学生生活支援	進学・就職支援、健康管理	3	2.9	3.1	3.4
Ⅵ財政・施設設備の管理	予算の執行・進行管理、施設設備 教材確保、災害対策	4	3.3	3.4	3.4
Ⅶ教員の能力向上	研修の実施、研修参加	2	2.3	2.4	2.1
Ⅷ広報・地域活動	広報活動、地域貢献、社会貢献	2	2.6	2.5	3.1

自己点検・自己評価結果と分析

自己点検・自己評価は、8 領域、25 項目からなり、「4 十分に満たしている」「3 満たしている」「2 改善の余地がある」「1 改善が必要」の４段階評価を行っている。

Ⅰ 学校経営

- ８月に県医療政策課の調査を受けた。教員要件は、１名が大学での単位修得中のため、３月に卒業の報告をし、全員が教員要件を満たした。
- ハラスメント委員会を立ち上げ、学生への説明、いつでも対応できる状況下にある。
- 学校経営については、教職員が共通理解の下、組織全体で学校経営に取り組んだ。

【評価】 特に意見なし

Ⅱ 教育課程・教育活動

- カリキュラム評価を行い、課題が見えてきた。次年度は、全体のカリキュラムの内容、進度について再検討したい。各科目の目標、内容の見直しを行い、全体の進度、目標到達度の評価を行った。
- 各学年の学年目標に対する到達度の自己評価を行い、面談担当教員と一緒に振り返り、保護者にも評価内容を送付した。
- 卒業時の到達度評価について、「看護実践能力」については、高得点を示していた。技術到達度については、個人差はあるが、実践もしくは見学できていない項目もあり、次年度は、実習施設に働きかけて、学ぶ機会を得るよう努力したい。

【評価】 特に意見なし

Ⅲ Ⅳ 学習成果・入学・卒業・就職・進路相談

- 入学生は18名で学生確保に苦慮している。
- 卒業生は28名で看護師国家試験は全員合格した。全学年で1名退学、２名休学、1名留年となった。
- 就職について、面談担当の教員を中心に支援していった。履歴書、小論文、面接練習に取り組んだ。県内に就職10名、県外18名全員の就職が決定しての卒業となった。

【評価】 看護師国家試験100%と結果が出ている。教職員の関わりも結果に繋がっている。

Ⅴ 学生生活への支援

- 健康管理については、定期の健康診断を全学生、全職員が受け、個人へ結果を通知している。健康問題のある学生については個別の対応をしている。
- 学生個別の相談には、面談担当教員が対応し、必要時にはカウンセラーの介入をお願いしている。
- 学生の支援体制については、日本学生支援機構、専門実践教育訓練給付金、病院奨学金等により、経済的負担の軽減に繋がっている。

【評価】 特に意見なし

Ⅵ 財政・施設設備の管理

- 年間の予算・中間報告・補正予算・決算を行い、事業執行できている。
- 地震・火災の避難訓練を実施した。警察署の安全対策については実施していないので次年度は計画する。
- 災害時の避難経路について、市の危機管理課の担当者と検討し、防災講話を実施した。
- 経年劣化している備品については、長期購入計画を検討する必要がある。

【評価】 今年度の評価を踏まえ、次年度予算を使って研修を進めて欲しい。

Ⅶ 教職員の能力向上

- 今年度は、事務職が新たに入職し、募集関係については、全職員で取り組み、教育に関する研修等には参加できていない。次年度は、計画的に進めていく予定。
- 看護教員の教育実習生を受け入れており、授業参観、教育内容の検討なども一緒に参加して刺激となった。
- 看護協会の実習指導者講習会に講師として数名参加している。

【評価】 2年連続低く改善が必要。自己研修は大切な事であると認識している。・・・改善の必要あり

Ⅷ 広報・地域活動

- 広報については、Instagramを通じて学校の状況を発信している。学校行事の新聞掲載依頼も行った。
- 学校の状況がわかりやすく、オープンキャンパス、入試情報など入りやすいホームページに改善している。
- 地域活動については、今年度教員も学生も積極的に取り組んだ。地域のニーズも明らかになり、新たな分野でのボランティア参加も増えた。学生と地域の方々との交流が増え、地域に根差した学校を目指す。

【評価】　学生確保が喫緊の課題であるので、全職員で取り組んで欲しい。

【総括】

昨年度の自己点検・自己評価から令和７年度の重点目標を定め、1年間取り組みました。意図的に計画、実施することによって、変化していることを実感しています。特に「Ⅶ教員の能力向上」については、改善策を立案し、実施しています。令和8年度から新たな組織を立ち上げて、学校関係者評価に取り組んで行きます。その為にも、各教員が実施したことをデータ化し、客観性のある学校評価に繋げられるよう取り組んで行きます。